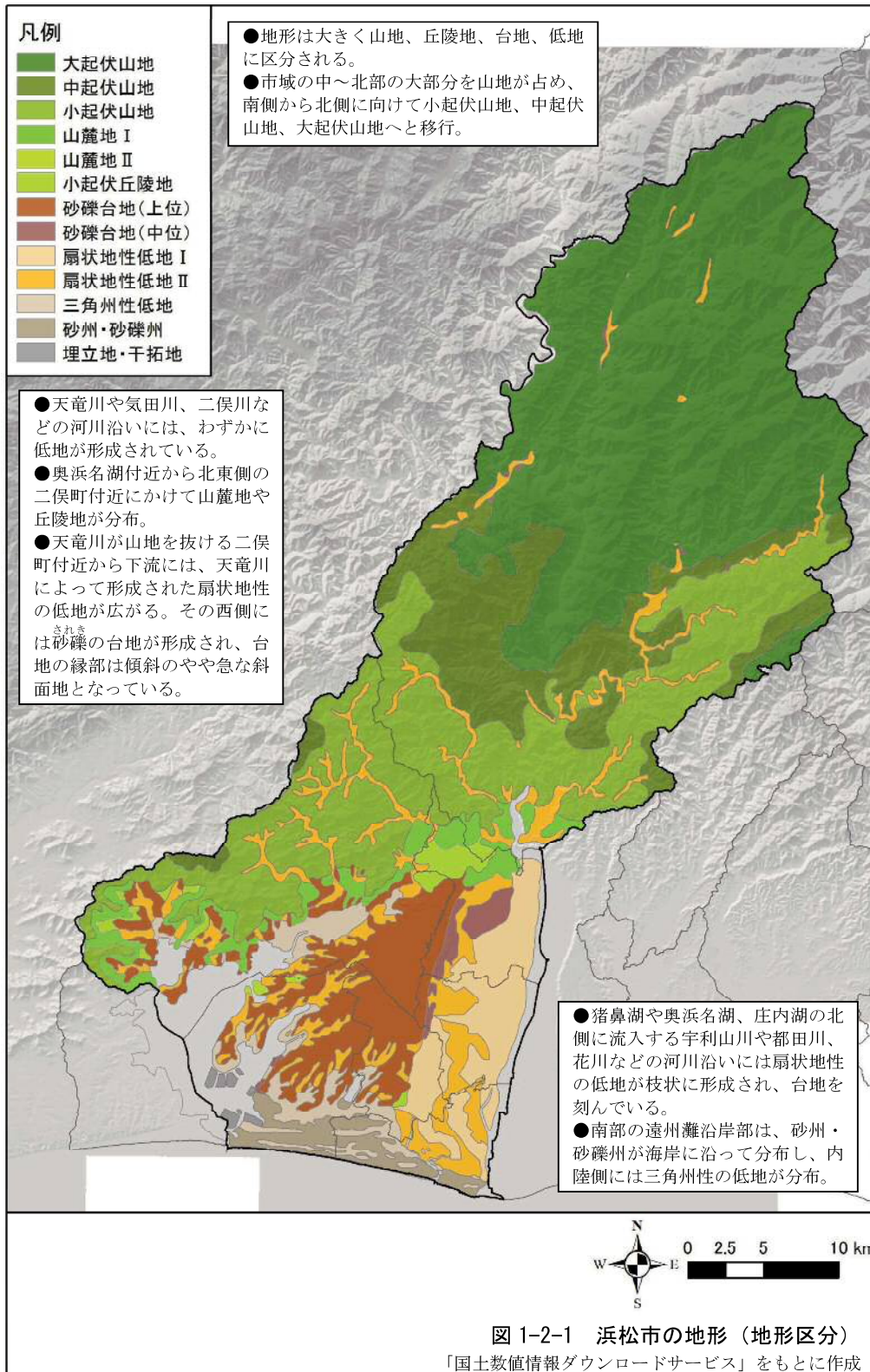
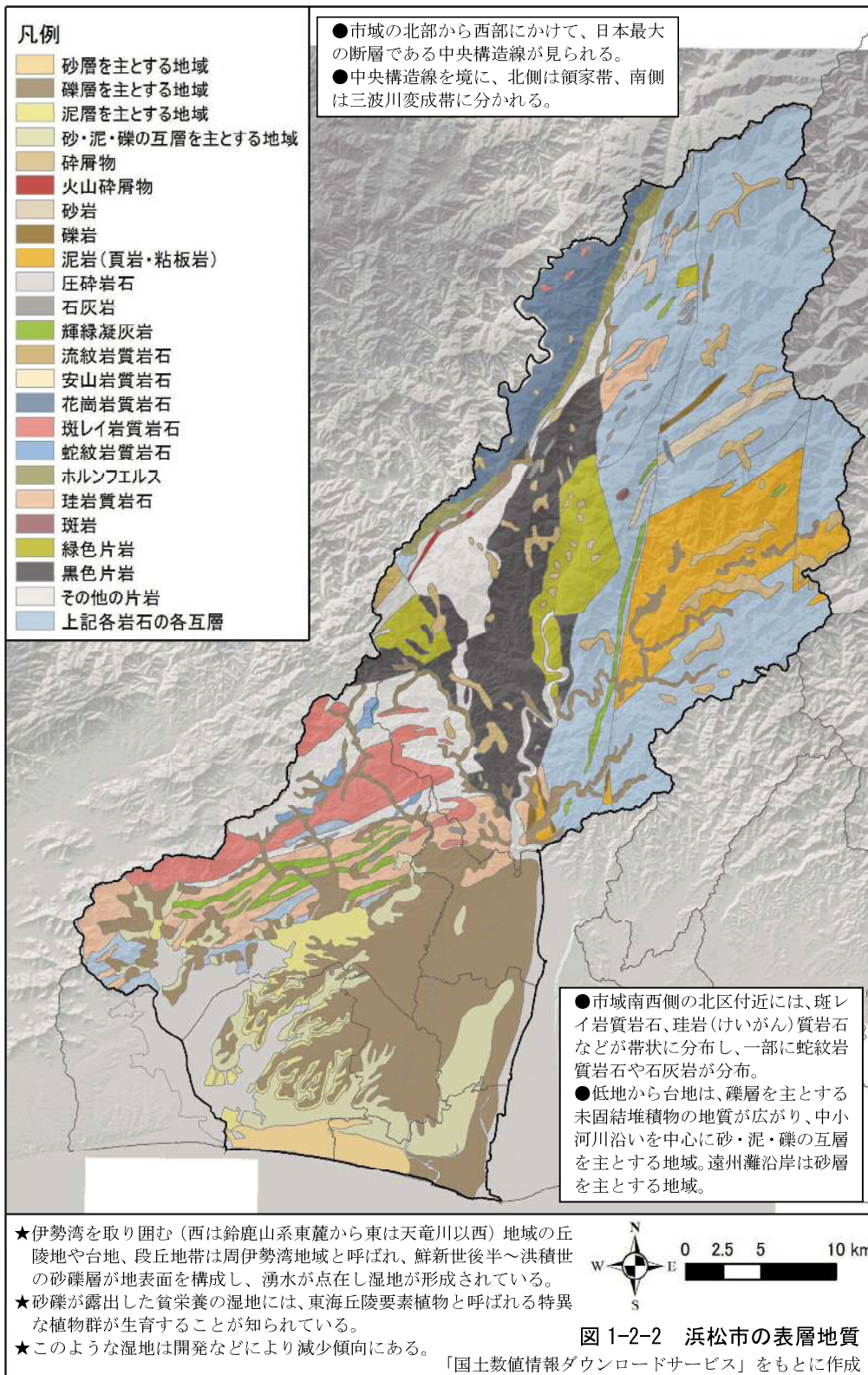


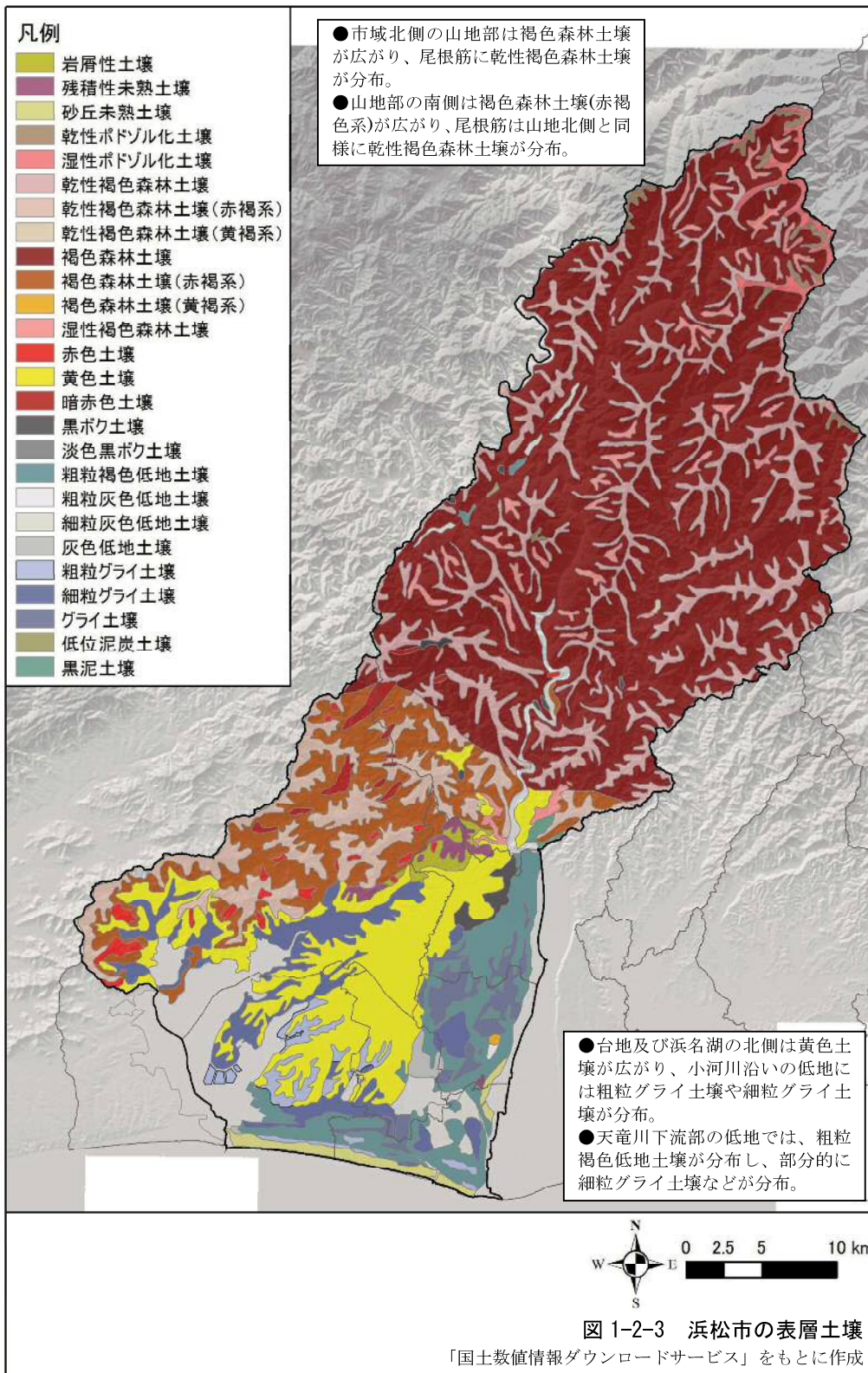
2 市域の自然環境

(1) 地形・表層地質・表層土壌

市域の地形、表層地質、表層土壌は、図 1-2-1～図 1-2-4 に示すとおりです。







(2) 動植物

① 植生

市域の現存植生は図 1-2-4 に示すとおりです。概況は以下のとおりです。

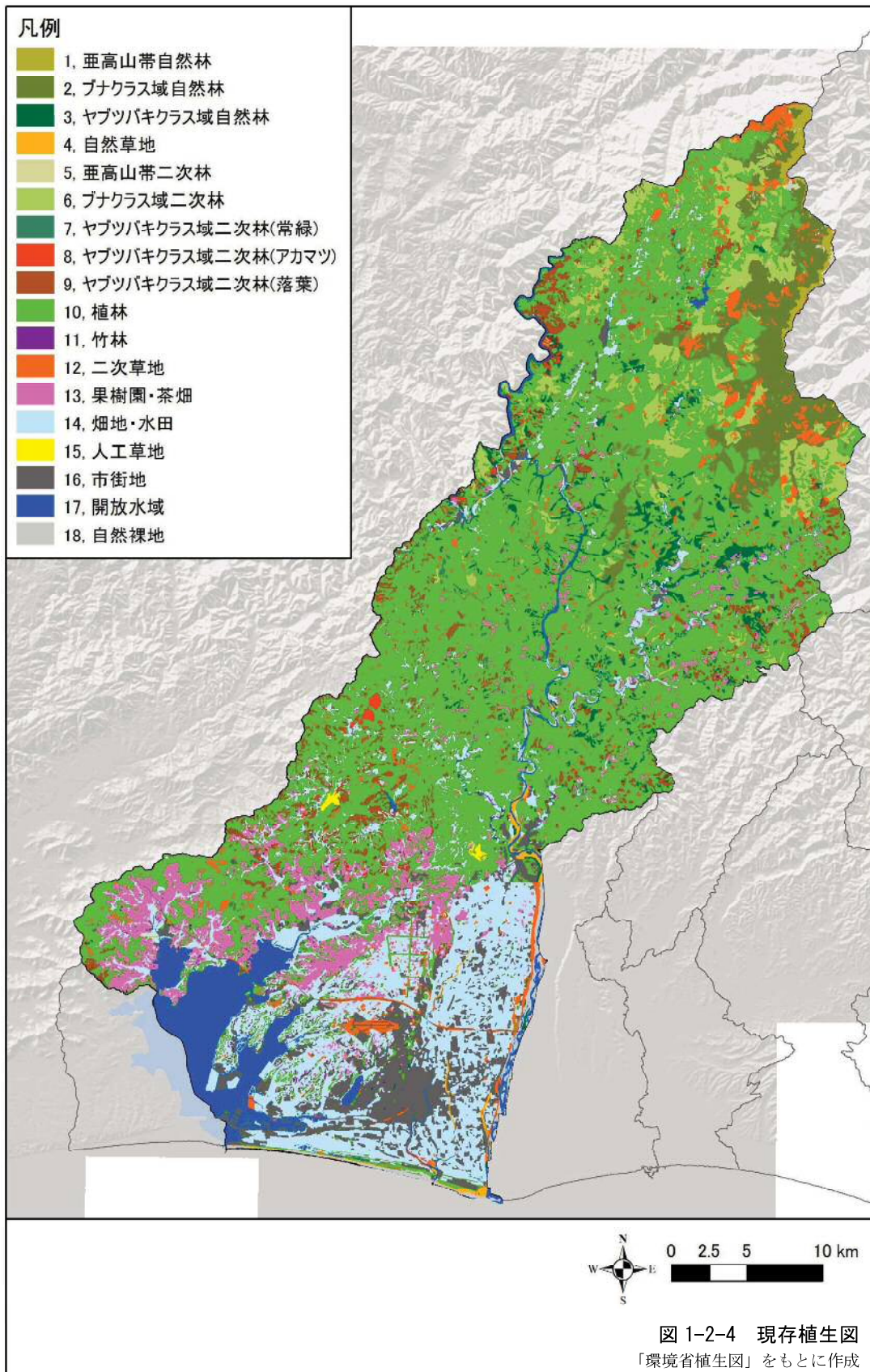
- ・北側の山地は自然性の高い森林域で、中ノ尾根山や京丸山付近の山頂部に亜高山帯自然林、ブナクラス域の自然林が分布しています。
- ・山地中部から丘陵地は、主にスギやヒノキの植林で、沢沿いには落葉広葉樹林や常緑広葉樹林が散在しています。
- ・北区三ヶ日付近では常緑果樹園(ミカン)が多く、周辺にはコナラ群落などの二次林が見られます。
- ・天竜川下流部の低地から台地にかけては市街地が広がり、その周辺に水田や畑地などの農地が散在しています。台地縁部の段丘斜面などにはスギ・ヒノキの植林や竹林などの樹林が残存しています。
- ・浜名湖周辺は、流入河川沿いで農地が見られるほかは市街地です。
- ・遠州灘に面する沿岸部は、海沿いに自然裸地(砂丘)が連続し、その内陸側にはクロマツ植林や畑地が見られます。

表 1-2-1 植生図の凡例

No.	群落名等 ^{※1}	含まれている群落等 ^{※2}
1	亜高山帯自然林	シラビソトウヒ群団、シラビソオオシラビソ群集、コメツガ群落
2	ブナクラス域自然林	スズタケブナ群団、ヤマボウシブナ群集、イヌブナ群集、ツガコカンスゲ群集、ミヤマクマワラビシオンジ群集、ヤナギ高木林、自然低木群落
3	ヤブツバキクラス域自然林	モミシギミ群集、サカキウラジロガシ群集、ケヤキイロハモミジ群集、アラカシ群落、イチイガシ群落、ヤブコウジースダジイ群集、ミズバイースダジイ群集、ホソバカナワラビースダジイ群集、河辺ヤナギ低木群落
4	自然草地	フジアザミーヤマホタルブクロ群集、ヨシクラス、ツルヨシ群集、砂丘植生
5	亜高山帯二次林	ダケカンバ群落
6	ブナクラス域二次林	ブナーミズナラ群落、クレーミズナラ群落、カスミザクラコナラ群落、アカシデーイヌシデ群落、ニシキウツギーノリウツギ群落
7	ヤブツバキクラス域二次林(常緑)	シイ・カシ萌芽林
8	ヤブツバキクラス域二次林(アカマツ)	アカマツ群落、モチツツジアカマツ群集
9	ヤブツバキクラス域二次林(落葉)	コナラ群落、コナラクリ群落
10	植林	アカマツ植林、クロマツ植林、スギ・ヒノキ・サワラ植林、ウラジロモミ植林、落葉針葉樹植林、カラマツ植林
11	竹林	竹林
12	二次草地	伐跡群落、ササ草原、ススキ群団、ナガハグサ群落、シバ群落、路傍雑草群落、ミノボロスゲオオバコ群落、林縁性つる低木群落、クズ群落、ヒメムカシヨモギオオアレチノギク群落、休耕田雑草群落
13	果樹園・茶畑	常緑果樹園、落葉果樹園、桑園、茶畑
14	畑地・水田	畑地雑草群落、水田雑草群落
15	人工草地	人工草地、ゴルフ場
16	市街地	市街地、緑の多い住宅地、造成地、工場地帯
17	開放水域	開放水域
18	自然裸地	自然裸地

※1：図 1-2-4 で示した植物群落等の凡例

※2：環境庁第 3 回自然環境基礎調査現存植生図の植物群落等



② 市内の動植物及び希少種の確認状況

平成 21 年度と平成 22 年度に本市で行った、動植物を対象とした既存文献調査と現地調査で確認された主な動植物は表 1-2-2 のとおりです。

表 1-2-2 確認・記録されている動植物の概要

項目	確認種類数		主な確認種
	既存文献	現地	
哺乳類	48 種類	27 種類	アカネズミ、アライグマ、カモシカ、カヤネズミ、キクガシラコウモリ、キツネ、コウベモグラ、コキクガシラコウモリ、タヌキ、ツキノワグマ、テン、ニホンイノシシ、ニホンザル、ニホンジカ、ニホンリス、ハクビシン、ムササビ等
両生類	20 種類	18 種類	アカイシサンショウウオ、アカハライモリ、アズマヒキガエル、アマガエル、ウシガエル、カジカガエル、タゴガエル、ツチガエル、トノサマガエル、ナガレタゴガエル、ナゴヤダルマガエル、ニホンアカガエル、ヌマガエル、モリアオガエル、ヤマアカガエル等
爬虫類	17 種類	15 種類	アオダイショウ、カナヘビ、クサガメ、シマヘビ、ジムグリ、シロマダラ、スッポン、タカチホヘビ、ニホンシガメ、ヒバカリ、マムシ、ミシシippiaアカミガメ、ヤマカガシ等
鳥類	327 種	208 種類	アオサギ、アカゲラ、アカショウビン、アカハラ、アマサギ、アマツバメ、イソシギ、ウグイス、エナガ、オオバン、オオヨシキリ、オオルリ、オシドリ、カイツブリ、ガビチョウ、カワウ、カワガラス、カワセミ、カワラヒワ、キアシシギ、キジバト、クマタカ、ケリ、コアジサシ、コゲラ、サシバ、シジュウカラ、ジョウビタキ、シロハラ、スズガモ、セグロカモメ、セグロセキレイ、ソウシチョウ、ダイサギ、チュウシャクシギ、ドバト、ノスリ、ハシボソガラス、ハチクマ、ホオジロ、ホシハジロ、ホトギス、ミサゴ、メジロ、ヨシガモ、ルリビタキ等
昆虫類	4,531 種類	1,425 種類	アオオサムシ、アオスジアゲハ、アサギマダラ、アブラゼミ、ウスバカゲロウ、ウチワヤンマ、ウバタマムシ、ウラナミシジミ、エゾハルゼミ、エリザハンミョウ、オオカマキリ、オオスズメバチ、オオセンチコガネ、オオヒメハナカミキリ、オニヤンマ、カシルリオトシブミ、カブトムシ、カメノコテントウ、ガロアムシ、カワラハンミョウ、キタキチョウ、キベリタテハ、キマワリ、クロイトトンボ、クロオオアリ、クロカナブン、ゲンジボタル、コジャノメ、ゴマダラカミキリ、コムラサキ、サビキコリ、シマサシガメ、ツバメシジミ、トノサマバッタ、ナガサキアゲハ、ニホンミツバチ、ノコギリクワガタ、ヒサマツミドリシジミ、ヒヌマイトトンボ、ヒメアカネ、ヒメオオクワガタ、ヒメガムシ、ヒメホシカメムシ、ホシササキリ、マツモムシ、ミズカマキリ、ミヤマセセリ、ミヤマフキバッタ、モリチャバネゴキブリ、ヤマトカワゲラ、ルリタテハ等
魚類 ※	254 種類	65 種類	アカザ、アブラハヤ、アユ、ウキゴリ、ウツセミカジカ、ニホンウナギ、オイカワ、オオクチバス、アユカケ(カマキリ)、カワアナゴ、カワバタモロコ、カワムツ、カワヨシノボリ、ギンブナ、コイ、シマヨシノボリ、スズキ、スナヤツメ、スミウキゴリ、タカハヤ、チチブ、トウヨシノボリ、ナマズ、ヌマチチブ、ブルーギル、ホトケドジョウ、ボラ、マハゼ、メジナ、ミナミメダカ、モツゴ、ヤマトイワナ等
甲殻類	49 種類	27 種類	アメリカザリガニ、アリアケモドキ、イソガニ、サワガニ、スジエビ、テナガエビ、ヒラテテナガエビ、ミナミヌマエビ、モクズガニ、ヤマトヌマエビ等
軟体動物 (水生貝類)	128 種類	23 種類	アメフラシ、アラムシロ、イシマキガイ、イボキサゴ、ウミエナ、ウミフクロウ、オオタニシ、カワエナ、サカマキガイ、スクミリンゴガイ、ヒメタニシ、ヒメモノアラガイ、フトヘナダリ、マンジミ、マツカサガイ、モノアラガイ、ヤマトシジミ等
軟体動物 (陸産貝類)	—	95 種類	カタマメマイマイ、クロイワマイマイ、ヒメギセル、ホウライジギセル、ミカワマイマイ等
植物	3,345 種類	1,891 種	アカガシ、アカシデ、アカマツ、アカヤシオ、アブラチャン、アバマキ、アマモ、イタヤカエデ、イヌノハナヒゲ、イヌビエ、イワガネゼンマイ、ウラギク、ウラジロガシ、ウラジロモミ、ウンヌケ、エイザンスミレ、エンシュウシャクナゲ、オオバノハチジョウシダ、オガタマノキ、ガガブタ、カワラナデシコ、カワラハハコ、カワラマツバ、キキョウ、クワガタソウ、コウボウムギ、コクサギ、コナラ、コマツナギ、サクラバハハコノキ、サワギク、シナノキ、シブカワツツジ、スギ、スダジイ、タイミンタチバナ、タカクマヒキオコシ、タニイヌワラビ、タネツケバナ、タブノキ、トチノキ、トンボソウ、ニリンソウ、バッコキナギ、ハマビルガオ、ハマボウ、ハルリンドウ、ヒノキ、ヒメカンアオイ、ヒルムシロ、ブナ、ベニシスラン、マコモ、マツカサススキ、ミズナラ、ミズバイ、ムラサキセンブリ、モウセンゴケ、ユリワサビ、ヨシ等

「平成 21・22 年度浜松市生物多様性情報整備事業」(2009・2010) (五十音順に配列)
※：対象は浜名湖の汽水域までとし、沿岸海域の魚類は対象外とした

これら確認種のうち、文化財保護法や種の保存法に指定されている種、環境省または静岡県レッドデータブックなどに記載されている種を「希少種」としました。本市において確認・記録されている希少種は表 1-2-3 のとおりです。

表 1-2-3 確認された動植物の主な希少種

項目	確認種類数		主な希少種
	文献・現地	現地	
哺乳類	13 種類	7 種類	カモシカ、カヤネズミ、カワネズミ、キクガシラコウモリ、コキクガシラコウモリ、ハタネズミ、ムササビ、モモジロコウモリ等
両生類	12 種類	11 種類	アカイシサンショウウオ、アズマヒキガエル、カジカガエル、タゴガエル、ツチガエル、トノサマガエル、ナガレタゴガエル、ナゴヤダルマガエル、ニホンアカガエル、ヒダサンショウウオ、モリアオガエル等
爬虫類	7 種類	5 種類	アカウミガメ、クサガメ、シロマダラ、ニホンスッポン、ニホンイシガメ、ニホントカゲ等
鳥類	91 種類	57 種類	アオバズク、アカショウビン、イカルチドリ、オオアカゲラ、オオタカ、オシドリ、クイナ、クマタカ、コアジサシ、ゴイサギ、ササゴイ、サシバ、サンコウチョウ、サンショウクイ、セイタカシギ、タカブシギ、ツルシギ、フクロウ、ブッポウソウ、マガン、マミジロ、ミゾゴイ、ヤマセミ、ヤマドリ、ヨシゴイ、ヨタカ等
昆虫類	113 種類	39 種類	イトアメンボ、ウラギンスジヒョウモン、ウラクロシジミ、ウラナミジャノメ、オオヒカゲ、オツネトンボ、カトリヤンマ、カワラハンミョウ、ギフチョウ、ギンボシヒョウモン、クモガタヒョウモン、グンバイトンボ、クロマルハナバチ、ゲンゴロウ、サトキマダラヒカゲ、ダイコクコガネ、タバサナエ、ツマジロウラジャノメ、ヒヌマイトトンボ、ヒメジャノメ、ヒメタイコウチ、ヒメヒカゲ、ヘイケボタル、マイコアカネ、ミヤマシジミ等
魚類	33 種類	26 種類	アカザ、イシカワシラウオ、ウツセミカジカ、アユカケ(カマキリ)、カワバタモロコ、スジシマドジョウ小型種東海型、スナヤツメ、ナガレホトケドジョウ、ニホンウナギ、ホトケドジョウ、ミナメダカ、ヤマトイワナ、ヤリタナゴ等
軟体動物 (水生貝類)	14 種類	11 種類	イボキサゴ、ウミニナ、オオタニシ、マシジミ、マツカサガイ、マルタニシ、モノアラガイ、ヤマトシジミ等
軟体動物 (陸産貝類)	42 種類	42 種類	イシマキシロマイマイ、オオギセル、カタママイマイ、クロイワマイマイ、ナガオカモノアラガイ、ナタネキササナギガイ、ヒメギセル、ベニゴマオカタニシ、ホウライジギセル、ミカワマイマイ等
植物	306 種類	82 種類	アシタカジャコウソウ、ウラギク、ウンヌケ、エビネ、エンシュウシャクナゲ、ガガブタ、カタクリ、カワラニガナ、キキョウ、ギンラン、サギソウ、サクラバハノキ、シブカワシロギク、シブカワツツジ、ジュンサイ、シラタマホシクサ、シロモジ、タコノアシ、タシロラン、テンリュウヌリトラノオ、トキソウ、ノビネチドリ、ヒキヨモギ、ヒトツボクロ、ヒメハシゴシダ、マツバラシ、マメヅタラン、ミズギク、ミカワバイケイソウ、ミズニラ、ミヤマスマレ、レンゲショウマ、ムラサキミカキグサ等

「平成 21・22 年度浜松市生物多様性情報整備事業」(2009・2010) (五十音順に配列)

※：主な希少種欄はヒアリングによる確認種を含む

本戦略で「希少種」としたのは、以下の天然記念物やレッドデータブックなどにあげられている種についてです。

- 1: 文化財保護法
(昭和 25 年 5 月 30 日法律第 214 号、最終改正：平成 26 年 6 月 13 日法律第 69 号)
- 2: 絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律
(平成 4 年 6 月 5 日法律第 75 号、最終改正：平成 26 年法律第 69 号)
- 3: 「環境省レッドリスト 2017 の公表について」(平成 29 年 3 月 環境省)
- 4: 「静岡県版レッドリスト 2017」(平成 29 年 静岡県)

③ 外来生物

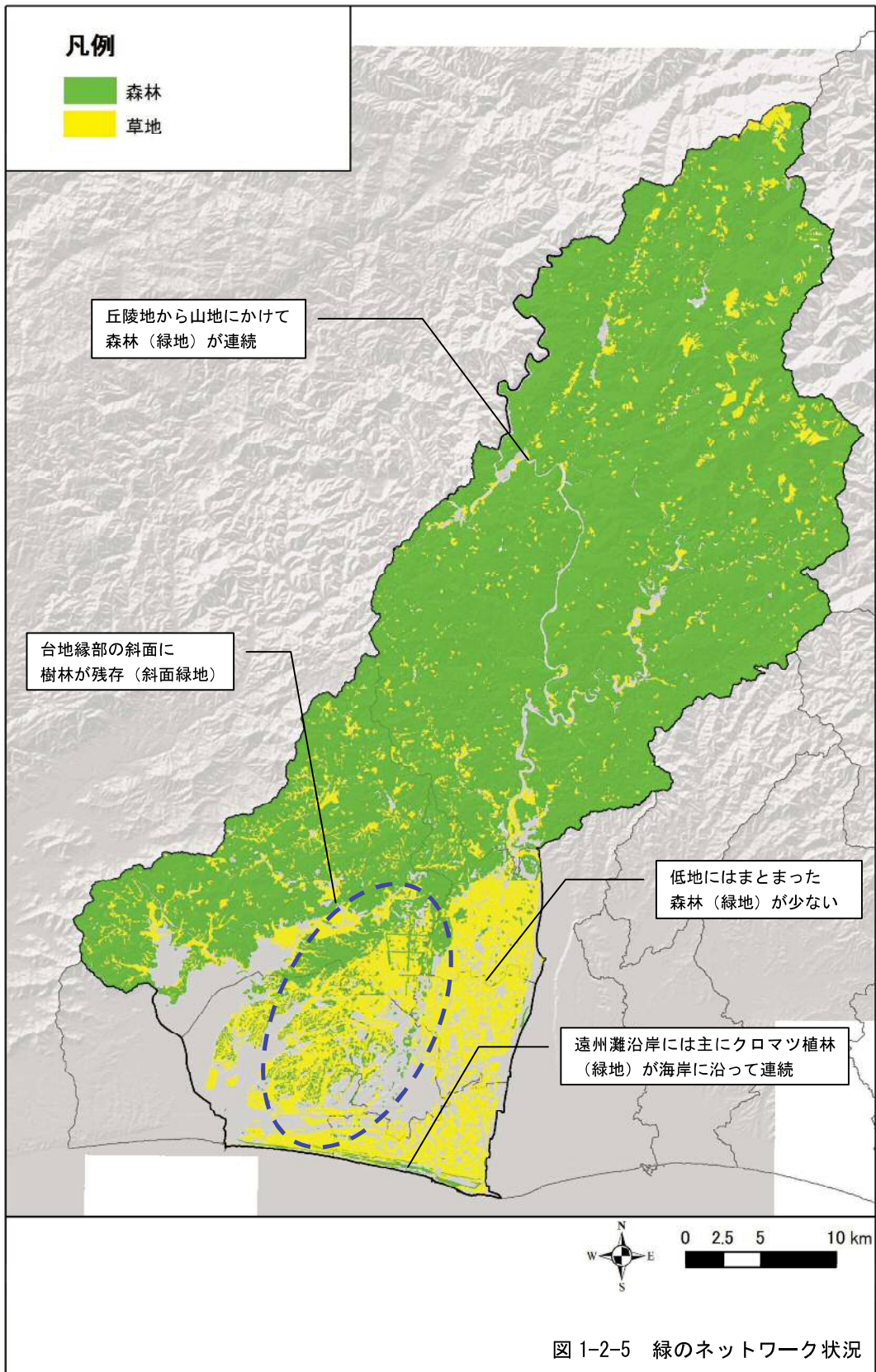
平成21年度から22年度にかけて実施した既存資料調査及び現地調査や有識者などへのヒアリング(聞き取り)により確認された外来生物は、表 1-2-4 に示すとおりです。

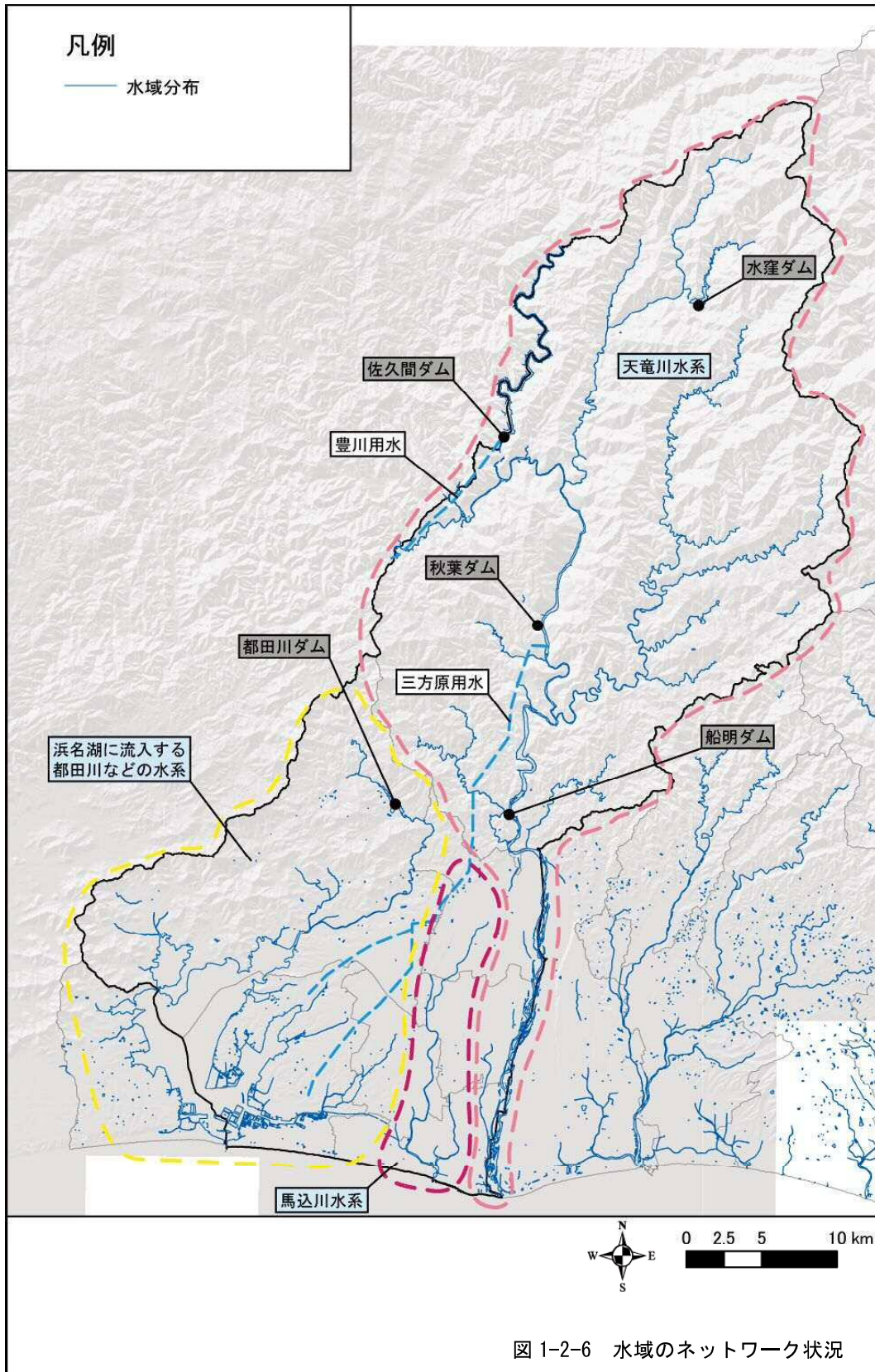
表 1-2-4 市域で確認・記録のある主な外来生物

項目	環境省		左記以外の 外来生物
	特定外来生物	生態系被害防止外来種 (特定外来生物に指定されている種は除く)	
哺乳類	アライグマ、クリハラリス、ヌートリア	クマネズミ、チョウセンイタチ、ハクビシン	
鳥類	ガビチョウ、ソウシチョウ		コジュケイ、ドバト等
両生類	ウシガエル	アフリカツメガエル	
爬虫類		ミシシッピアカミミガメ	
昆虫類	ヒアリ	ホソオチョウ	アオマツムシ、 アメリカミズアブ、 シバツトガ、 セイヨウミツバチ等
クモ類	セアカゴケグモ		
魚類	オオクチバス、カダヤシ、 ブルーギル	ソウギョ、タイリクバラタナゴ、ニジマス	カムルチー、 ゲンゴロウブナ、コイ等
甲殻類		アメリカザリガニ	
軟体動物	カワヒバリガイ	アメリカフジツボ、コウロエンカワヒバリガイ、 サキグロタマツメタ、スクミリンゴガイ、タテジマフジツボ、 ムラサキイガイ	サカマキガイ
植物	アレチウリ、オオカワヂシャ、 オオキンケイギク、 オオハンゴンソウ、 オオフサモ、ナルトサワギク、 ブラジルチドメグサ、 ボタンウキクサ、ミズヒマワリ	アカミタンポポ、アメリカセンダングサ、アメリカネナシカズラ、 アレチヌスビトハギ、アレチハナガサ、イタチハギ、 エンノギシギシ、オオオナモミ、オオカナダモ、オオクサキビ、 オオブタクサ、オオフタバムグラ、オニウシノケグサ、 オランダガラシ、カモガヤ、キーウイフルーツ、 キシウスズメノヒエ、キシウブ、コカナダモ、コゴメイ、 コヌカグサ、コマツヨイグサ、コンテリクラマゴケ、 シナダレスズメガヤ、シマスズメノヒエ、シュロガヤツリ、 シンジュ、シンテッポウユリ、セイトカアワダチソウ、 セイバンモロコシ、セイヨウカラシナ、セイヨウタンポポ、 ダキバアレチハナガサ、タチスズメノヒエ、タチバナモドキ、 ツルニチニチソウ、トウネズミモチ、ナガバギシギシ、 ナギナタガヤ、ナンキンハゼ、ニワウルシ、ネズミムギ、 ノハカタカラクサ、ハチク、ハナニラ、ハリエンジュ、ハルガヤ、 ヒイラギナンテン、ヒメジョオン、ヒメツルソバ、 ヒメヒオウギズイセン、ヒメマツバボタン、ペラペラヨメナ、 ホコガタアカザ、ホシアサガオ、ホソムギ、ボタンウキクサ、 ホテイアオイ、マルバアサガオ、マンテマ、ムシトリナデシコ、 メリケンガヤツリ、メリケンカルカヤ、モウソウチク、 ヤナギハナガサ、ヨウシュチョウセンアサガオ、リュウノウギク等	アメリカヌホオズキ、 オオイヌホオズキ、 カラスムギ、 シロツメクサ、 チチコグサモドキ、 ナンバンカラムシ、 ハナヌカススキ、 ヒメムカシヨモギ、 マメグンバイナズナ、 メマツヨイグサ、 メリケンキンソウ等

「平成 21・22 年度浜松市生物多様性情報整備事業」(2009・2010)及びヒアリングにより情報が得られた種(五十音順に配列)

(3) 生態系ネットワークの状況





3 取組みの達成状況

2013戦略策定後の5年間で、市の各部署などが行ってきた取組みの達成状況は、表1-3-1に示すとおりです。

表 1-3-1 市の行動計画の進捗を示す指標

No.	指標	現状値 (年度)	目標値 (平成 28 年度)	平成 28 年度値	達成 状況
1	アカウミガメの孵化率	75.6% (H23)	70%程度の維持	71.6%	○
2	エコファーマー認定人数	533 人 (H23)	500 人	370 人	×
3	農地・水・農村環境保全向上対策支援事業に取り組む地区数	23 地区 (H23)	39 地区	37 地区	×
4	市民一人あたりの公園面積	8.15 m ² (H23)	9.08 m ²	8.18 m ²	×
5	環境基準点での環境基準達成地点数	14 地点 (H23)	94.5%	95.7%	○
6	下水道普及率	78.6% (H23)	82.0%	80.1%	×
7	緑地保全指定面積	95.5ha (H23)	100ha	102.8ha	○
8	花と緑に関するボランティア活動会員数	9,280 人 (H23)	10,600 人	10,035 人	×
9	緑化植物の使用指針の作成	— (H24)	国の使用指針作成を待って平成 29 年度までに作成	—	×
10	自然環境マップのアクセス数	2,640 件(H23)	2,800 件	901 件	×
11	「みどりのアーカイブス」制度の構築	— (H24)	みどりに関する情報収集とこれらを活用する仕組みづくりを進める	—	×
12	認定農業者数(経営体)	1,198 経営体 (H23)	1,300 経営体	1,153 経営体	×
13	環境学習活動団体・事業者登録制度の登録団体数	— (H23)	15 団体	13 団体	×
14	緑のカーテン資材交付件数	698 件/年(H23)	400 件/年	251 件	×